

### 保護者と子どもが安心して小学校入学を迎えるための就学説明会

浦河町教育委員会管理課

保護者や子どもが安心して、小学校に入学できるように工夫している就学説明会の取組について、浦河町教育委員会にご紹介をいただきました。

#### 1 はじめに

浦河町では、子どもの小学校入学を前に、保護者や子どもが安心して就学を迎えることができるよう、就学説明会を行っています。対象は、年長・年中の子どもがいる保護者をはじめ、幼児教育施設の先生、発達支援センターの職員など、就学に関わる方たちです。就学説明会では、「どのような準備が必要なの?」「うちの子は大丈夫かな?」といった保護者の疑問や不安を少しずつ解消していくことを大切にしています。

#### 2 「就学前に大切にしたい4つの育ち」について

説明会では、当町の小学校の先生から、「小学校に入るまでに大切にしたいポイント」(図1)についてお話をしています。小学校生活を安心してスタートするためには、勉強の準備だけでなく、幼児期における子どもの体や心の土台を築くことがとても大切です。この土台は、幼児期の頃からの毎日の遊びや生活の中での経験、人との関わりを通して少しずつ育っていきます。子どもの「できること・できないこと」だけに目を向けるのではなく、今の子どもの育ちで大切なことを保護者と一緒に確認しています。

##### 1 体を動かして遊ぶ経験

自分で触れ、動き、試す遊びは感覚を育て、発達を促します。大人と一緒に遊び、楽しい時間を共有することも子どもの情緒の安定につながります。

##### 2 基本的な生活習慣の形成

十分な睡眠、適度な運動、栄養バランスの取れた食事など、生活リズムの確立が心身の成長の基盤となります。

##### 3 ソーシャルスキルの獲得

友達と遊ぶ経験は、思いやりやコミュニケーション能力を育てます。また、挨拶をすることは、人と関わる最初のステップであり、自分から進んでできるようになることが望ましく、遊びを通して対人関係や社会性の基礎が育まれます。

##### 4 愛着の形成

特定の大人との安定した関係(愛着)は、基本的信頼感の土台となり、知的能力や情緒の安定、社会性の発達を支えます。家庭は子どもの「心の安全基地」として重要な役割を果たすため、家庭での安心感が、子どもの成長に大きく影響します。

図1 [小学校に入るまでに大切にしたいポイント]

### 3 就学前に行う教育相談について

特別な支援を要する子どもの就学前に行う教育相談では、保護者のお話を丁寧に伺いながら、幼児教育施設、学校、保健センター、子育て支援センター、医療や療育の機関などと連携し、子どもに合った学習環境や支援方法について、一緒に考えていきます。また、保護者の要望に応じて、小学校の先生が幼児教育施設を訪ねたり、保護者の方と子どもが就学する小学校を見学したりすることもできます。保護者が子どもの就学先について迷ったときや心配なことがあるときには、何度でも相談することができる体制にしています。

### 4 おわりに

本町では、新小学一年生になる全ての家庭に「子育て支援ファイル おーるうえいず」(図2)を配付しています。このファイルは、子どもの成長やこれまでの様子を記録し、必要な支援につなげるためのものであり、保護者や子ども、保健・医療・福祉・教育などの関係機関が情報を共有すること(図3)で、子どもに必要な支援を整理したり、受けやすくしたりしています。子どもが就学する時期は大きな節目です。これからも当町では、各関係機関と連携しながら、保護者や子どもが安心して新しい生活を始めることができるよう支えていきます。



図2 [子育て支援ファイル おーるうえいず]

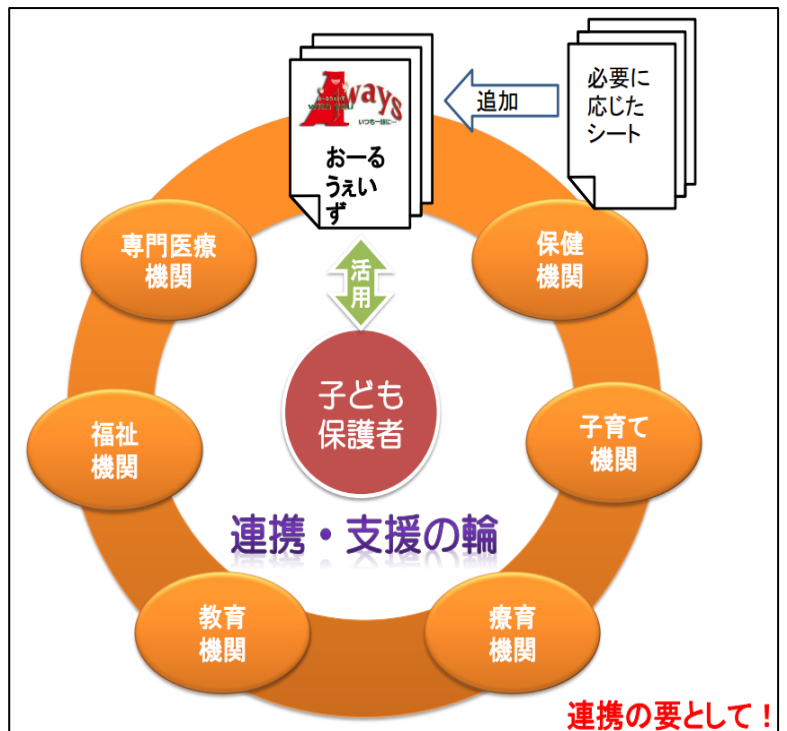


図3 [連携・支援の輪]